

No. (67) 平成 30 年度 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業成果報告書

事業名称	地域住民と共働で文化財を伝承する事業		
実行委員会	地域文化財を伝承する会		
中核館	荒神谷博物館		
	住所	〒699-0503 島根県出雲市斐川町神庭 873-8	
	TEL	0853-72-9044	FAX 0853-72-7695
	ホームページ	http://www.kojindani.jp	
構成団体	●荒神谷博物館 ●NPO 法人出雲学研究所 ●道の駅湯の川 ●湯の川温泉旅館組合 ●荒神谷ボランティアガイドの会		
事業開始時点の課題分析	古代から人々の営みに深く関わりをもつ温泉や薬草の記述は、『出雲国風土記』にもあり、出雲には今でも絶えることなくその資源は残っている。しかし、その資源は地域住民の知識から希薄になり、日々の暮らしの中に活かされていない。また、現在薬草を使った商品が生産されているにも関わらず、それらの商品の周知も十分にできず、日々の情報の中に埋もれている。		
事業目的	日本一の青銅器出土遺跡に隣接したサイトミュージアム 荒神谷博物館を中心にして、日本三美人の湯として知られている 湯の川温泉、そしてその地域の特産品などを取り扱う道の駅湯の川が円陣を組み、さらにこれまで単独で活動をしていた複数のグループなどと情報を共有し、活動枠を拡大する。古代出雲の人々が当たり前のようにしていた薬草の活用法や習慣などを改めて注目し、その内容をまとめ、情報パンフレットとして作成し周知する事で、『古代の人々の知恵で健康』をテーマにした地域活性化活動や観光振興につなげる。		
事業概要	● 四季に合わせた薬草の勉強会、全 4 回開催 ● 薬草に関する総合講演会『日常に活かす薬草』開催 ● パンフレット『出雲国薬草とくらし手帖』作成、配布 ● パネル展示『古代出雲の薬草再発見』作成、展示 ● キャンペーン【出雲国薬草とくらしプロジェクト 健やかな暮らしはじめませんか?】ポップ作成、湯の川温泉旅館内、道の駅湯の川など約 30 店舗に設置		
実施項目 ・ 実施体系	(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館 <input type="checkbox"/> ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携 <input type="checkbox"/> イ ユニークベニューの促進 <input type="checkbox"/> ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館 <input checked="" type="checkbox"/> エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信 (2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動 <input type="checkbox"/> ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成 <input type="checkbox"/> イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発 <input type="checkbox"/> ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施 <input type="checkbox"/> エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業 (3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館 <input type="checkbox"/> ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動 <input type="checkbox"/> イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発		

施後の
成果・効果等

地域住民へ『出雲国風土記』記載の薬草についての知識習得のため、古代出雲の薬草を紹介する講座、勉強会をし、さらに『出雲国風土記』記載の薬草植物とその活用法、商品化されている物を紹介するパネル展示会『古代出雲の薬草再発見』を開催したり、パンフレット『出雲国薬草とくらし手帖』を作成し、地域施設で配布する事により、古代から伝承されている生活の知識の重要性を周知する事ができた。

また、『出雲国薬草とくらしプロジェクト～すこやか生活始めませんか？～』と表記したポップを地域内の道の駅やスーパーなどで設置することにより、地域住民が知識や情報を習得したうえで、県外からの観光客へ他地域とは異なる新しい魅力の情報提供をし、来県者の増加に繋げるきっかけとなった。

これらの事業をすることにより、荒神谷博物館が文化財である【出雲国風土記の薬草】についての情報発信地として確立する事ができた。

【事業実績】

平成 31 年 1 月 12 日 冬の植物勉強会



平成 31 年 3 月 3 日 講演会『日常に活かす薬草』



平成 31 年 3 月 23 日～4 月 22 日 パネル展示
『古代出雲の薬草再発見』会場：荒神谷博物館



キャンペーンポップ設置
出雲市道の駅 【道の駅湯の川】

